

直一郎^{なおいちろう}は、1893年（明治26年）8月に土田^{ほにた}ぜき組合をつくり、監守^{かんしゅ}取締^{とりしまり}となり長いことつとめましたが、1911年（明治44年）8月に病気でなくなりました。

土田ぜきは、1960年（昭和35年）から1967年（昭和42年）までの8年間、県の仕事として改修^{かいしゅう}工事がおこなわれ、今のようなりっぱなせきになりました。

土田ぜきの水は、およそ912ヘクタールの水田をうるおしています。

取り入れ口



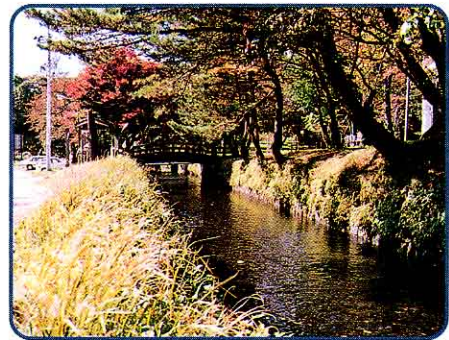
びわざわ近く（渋谷）



長坂^{ながさか}地内



土津^{つづ}神社の下



三号水門（渋谷^{しぶや}）



不動^{ふどう}地内

